

県民の歌

岡 きよし 作詞
川島 博 作曲
栃木県県章・県民の歌選定委員会補作

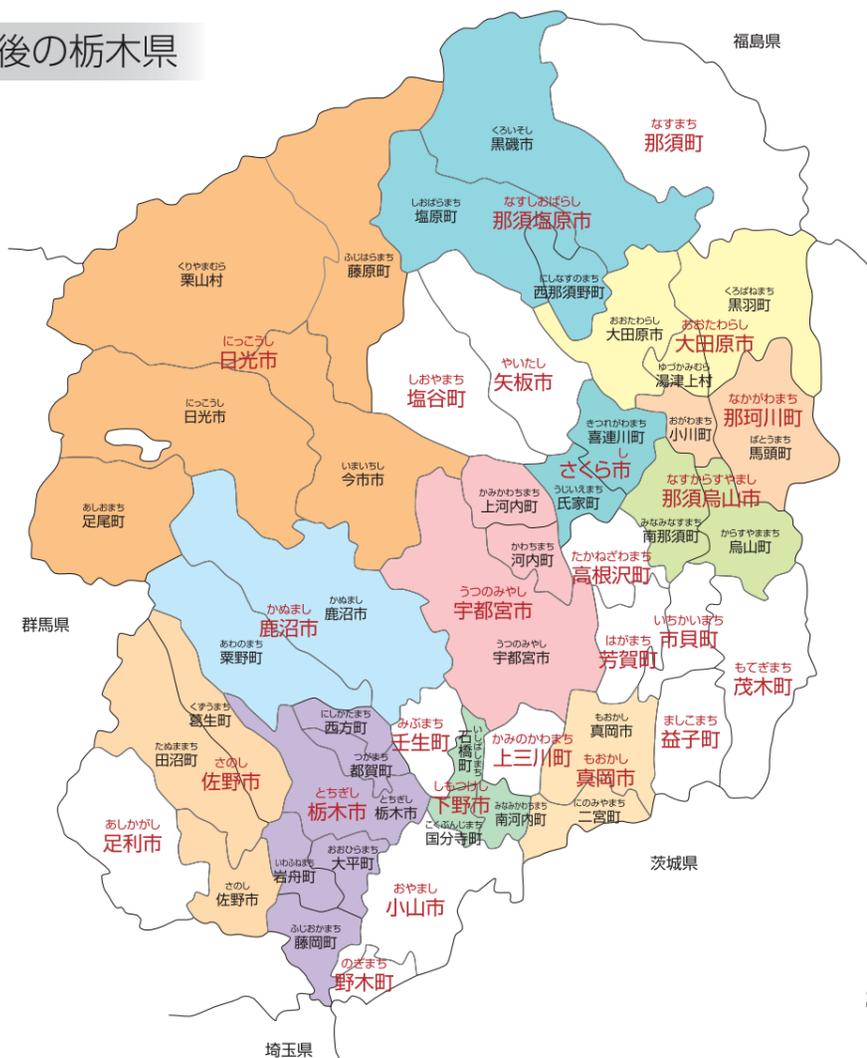
一、この葉の風さわやかに
晴れわたる町よいらかよ
男体は希望に明けて
日の光よもにみなぎる
栃木県われらのわれらのふるさと

二、鬼怒川の水きよらかに
尽くるなきさちよ恵みよ
生産は日ごとに伸びて
躍進のいぶぎたくまし
栃木県われらのわれらのふるさと

三、人の和の夢おおらかに
盛りあがる自治よ自由よ
けんらんの文化にはえて
とこしえに若さあふるる
栃木県われらのわれらのふるさと

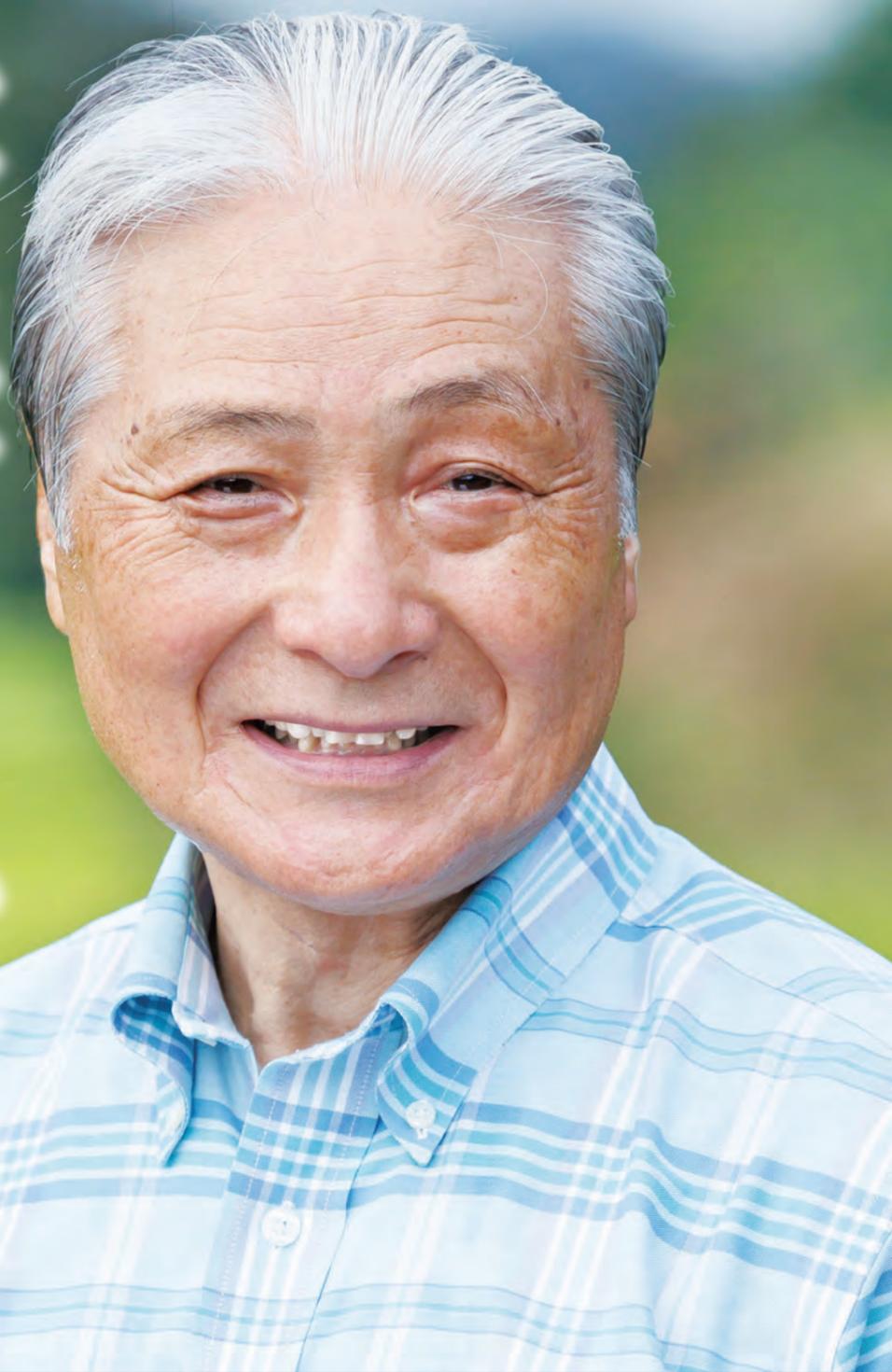
(昭和三十七年十二月二十五日制定)

平成の大合併後の栃木県



2024.10.29

共に創る とちぎの明日
未来への投資



福田 とみかず
とちぎの挑戦2024

福田とみかず後援会総連合会
ホームページ tomikazu.com

とみかず 検索



福田とみかず後援会
Instagramはこちら

[@egappetomikazu](https://www.instagram.com/egappetomikazu)



とみかずさんの
日常お届け中

とちぎの挑戦2024

目次

I	未来への投資 ～共に創る とちぎの明日のために～	P1
II	「とちぎの挑戦2024」の構成	P2
1	「人への投資」と少子化トレンドの反転	
2	「女性・若者の活躍」を全力応援	
3	「健康・安心なとちぎ」の実現	
4	「稼ぐ力」を伸ばして更なる「豊かな県」へ	
5	「X(トランスフォーメーション)」で「とちぎの未来創造」	
III	「とちぎの挑戦2024」の内容	P3
IV	人口減少対策及び新たに取り組む項目	P8
V	福田とみかず県政20年の実績	P19

あとひと踏ん張りすると決意した

共に創る とちぎの明日のために

「虎は死して皮を留め 人は死して名を残す
という言葉を思う」



私は今きわめて厳しい立場にある

次なる戦いでは勝ち切れるか・任期中にどれだけ成果を残せるか
福田流があるとすれば時代にマッチするのか

私に不安がない訳ではないが幸い健康に恵まれている

在任中に知り合えた県内各地で活躍中の皆さん(老若男女)がいる

皆さんは何よりも栃木県に・栃木県民であることに強い誇りを持っている

その「**誇り**」こそ栃木づくりの原点だと考える

皆さんと一緒にふるさと栃木を輝かせ次の世代に引き継いでいきたい

そのために「**守るべき命**」はそのすべて守り抜く形を創りたい

その上で、新たなステージを築きその先へ共に進みたい

誰もが未来に夢や希望の持てる栃木・豊かさと幸せを実感できる栃木

それを実現したい

その思いは、身命を賭して戦い続けることでのみ成就できる

虎は皮を留める

私は栃木100年の大計を発進させることに邁進し

必ずとちぎの未来を明るいものに育て上げる

それが私にとって「**虎の皮を留める**」ことになればと念じつつ

令和6年9月18日

福田 富一

II 「とちぎの挑戦2024」の構成

「未来への投資」

～共に創る とちぎの明日～

1 「人への投資」と少子化トレンドの反転

「人への投資」を積極的に行い、「なりたい自分になれる」教育環境の整備を進めます。さらに、結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目ない支援による人口減少対策を展開し、すべての人が輝く「人づくりとちぎ」を目指します。

2 「女性・若者の活躍」を全力応援

G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の成果を活かし、男女が共に輝ける社会づくりを進めるとともに、地域課題の解決に取り組む若者をサポートするなど、「女性・若者活躍とちぎ」を全力で推進します。

3 「健康・安心なとちぎ」の実現

新型コロナウイルス対策の経験を踏まえ、医療・福祉の体制を整備します。併せて、防災・減災対策や暮らしの安全を推進し、「健康・安心なとちぎ」を実現します。

4 「稼ぐ力」を伸ばして更なる「豊かな県」へ

先端産業の企業誘致、農林業の成長産業化、インバウンドなどの観光誘客に取り組むことで、「稼ぐ力」を伸ばし、一人ひとりが豊かさを実感できる、更なる「豊かなとちぎ」を目指します。

5 「X(トランスフォーメーション)」で「とちぎの未来創造」

デジタル・グリーン(環境)・ローカル(地域)、3つの分野で「変革」を推し進め、持続可能な明日につながる「未来創造とちぎ」を実現します。

III 「とちぎの挑戦2024」の内容

※○印は新たに取り組む項目、●印は既存事業の充実強化を目指す項目です。

1 「人への投資」と少子化トレンドの反転

【人口減少対策】(3項目)

- 官民連携による「栃木県人口未来会議」(仮称)の設置
- 女性や子育て世帯などターゲットニーズに応じた移住・定住施策の充実・強化
- 地方創生に向けた中山間地域の地域づくり活動の支援

【結婚・子育て】(5項目)

- 市町と連携した給食費の無償化への取組など子育て世代の負担軽減の推進
- とちぎ結婚応援企業・団体の登録を促進し、組織内結婚サポーター1万人の登録推進
- 希望をかなえる妊娠・出産・産後ケア支援の充実
- 市町と連携した児童虐待防止対策体制の強化
- 結婚支援センターの機能強化等、結婚の希望に応える施策の推進

【人材育成・活用】(2項目)

- 大学、民間企業等と連携した「人づくり革命」の推進
- 全世代を対象としたリスキリングなど職業訓練・就労支援の推進



【外国人材】(2項目)

- 育成就労制度の創設を契機とした外国人材の更なる活躍に向けた受入体制の強化
- 県立職業訓練施設等における外国人生徒に対する教育の充実

【教育】(11項目)

- グローバル時代に対応する英語力の強化など一貫した国際教育の推進
- 第三期県立高等学校再編計画の着実な実行による魅力と活力ある県立学校づくりの推進
- 県立学校で学ぶ生徒の教育環境の充実
- 産業構造の変化に対応した職業系高等学校の特色化
- 建設産業の担い手を育成するインフラトレーニングセンターの整備
- 児童・生徒に寄り添った相談体制の充実など不登校対策の強化
- 公立夜間中学の設置など多様な学びの場の整備
- 共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実・強化
- 教育現場の魅力度アップと教育力の向上
- GIGAスクール構想によるICTを効果的に活用した教育DXの推進
- ICTや外部人材を活用したとちぎっ子体力アッププロジェクトの推進



2 「女性・若者の活躍」を全力応援

【女性活躍】(6項目)

- 女性幹部職員の更なる登用及び女性活躍推進フェロー(仮称)の設置
- 民間と連携した女性活躍応援基金の設置
- 女性の職域拡大と賃金アップの取組促進
- 輝く女性の活躍を応援する「男女生き生き企業」の倍増
- とも家事の推進など男女共同参画社会の実現に向けた施策の推進
- 女性活躍のための職場環境づくりやテレワークなど多様な働き方の促進



【若者の活躍】(3項目)

- 若者の意見を反映した施策を推進する「とちぎ若者会議」(仮称)の設置
- 若者の地域貢献活動を支援する「とちぎ若者応援バンク」(仮称)の設置
- メディア芸術など新たな文化やコンテンツ産業の振興

3 「健康・安心なとちぎ」の実現

【医療・福祉】(7項目)

- 救急医療提供体制の充実強化
- 地域医療構想を踏まえた県立病院施設の再整備
- 高齢者のオーラルフレイル対策や各種健診受診率の向上など健康寿命延伸の取組推進
- 県外医学部の地域枠や修学資金の活用、研修の充実強化等を通じて、医師やコメディカルの確保・育成・定着を促進
- 福祉・介護職員の確保と定着
- 共生社会の実現に向けた障害福祉施策の充実
- ヤングケアラー等様々なケアラー支援の充実



【スポーツ】(3項目)

- 地域クラブとの連携等による部活動改革の推進
- 栃木県スポーツコミッション等を通じた国際的なイベントや国際会議の誘致
- プロスポーツチームとの連携による地域活性化の推進

【くらし】(2項目)

- カスタマーハラスメント防止条例の制定
- 高齢者・障害者への特殊詐欺など消費者被害の防止対策の推進

【防災・減災、防犯】(7項目)

- 新防災教育施設を中心とした防災人材の育成と地域防災活動の活性化の推進
- 逃げ遅れゼロを目指し、デジタル地図等による災害状況の見える化の推進
- 空き家の発生抑制や活用の促進、危険な空き家の除却等の対策の推進
- 大規模災害時の防災拠点となる都市公園等の機能強化の推進
- 国と連携した災害時の首都機能のバックアップ機能の強化
- 栃木県版防災・減災及び県土強靱化の推進
- 災害時の対策・対応、被災した後の復旧・復興力など災害レジリエンスの強化

4 「稼ぐ力」を伸ばして更なる「豊かな県」へ

【産業振興・企業誘致】(11項目)

- 企業ニーズファーストの選ばれる産業団地の整備
- 情報産業など次世代産業の育成
- 県内中小企業・小規模事業者の持続的な賃上げの促進
- 地域経済を牽引する中堅企業の支援
- 官民連携による「とちぎ国際戦略協議会」(仮称)の設置
- 特定重要物資の安定供給確保に資する半導体・蓄電池関連企業等の誘致
- 事業承継のマッチング等による中小・小規模企業支援の推進
- とちぎ発スタートアップ企業の創出・規模拡大に向けた取組の推進
- 戦略的な産業分野(自動車・航空宇宙・医療福祉機器)に対する重点的な支援の実施
- 伝統工芸品の販路開拓及び後継者の育成等の支援
- 武道ツーリズム等による地域の活性化の推進



【農林業の成長産業化】(12項目)

- 最先端テクノロジーを活用した栃木型園芸団地の創出
- スマート農業・スマート林業の加速化による更なる生産力や経営力の強化
- 鮮度などの付加価値の向上による有利販売の推進
- 県オリジナル品種等の農産物知的財産の創出・保護・活用を促進
- 農村地域でのグローバルビジネスの創出による稼ぐ力の強化
- 花粉の少ない森林等への転換に向けた森林の若返りの推進
- 県民の命を支える「食」の安定供給に向けた農業生産力の強化
- 国内外から選ばれる「栃木の農産物」のブランド力強化と輸出の促進
- 技術開発支援等による世界に誇れる「いちご王国・TOCHIGI」の実現
- 新品種・新技術の開発など気候変動に対する農業の適応力の強化
- 特定家畜伝染病対策の充実・強化
- 県産木材を活用したウッドチェンジ事業の推進

【国際・観光】(3項目)

- 宿泊施設等におけるAI、IoTの導入促進など観光産業におけるデジタル化の支援
- 新モビリティによる奥日光地域へのアクセスの強化
- 民間活力を活用した都市公園の魅力向上の推進

【地域交通】(1項目)

- 県土60分構想のR・デザイン

【地域づくり】(2項目)

- 担い手不足などの地域課題の解決に向けた民間事業者との連携による仕組みづくりの推進
- 市町におけるスマートICの増設の支援

5 「X(トランスフォーメーション)」で「とちぎの未来創造」

【デジタル】(7項目)

- つながる・ながれる・機能がひろがるスマートシティの推進
- 市町窓口DX(書かない、待たない、回らない、行かない)の伴走支援の強化
- GIS(地図情報システム)の高度化や3次元点群データの活用、ICT施工の推進などインフラDXの推進
- DXにおけるデータ利活用人材の育成
- 市町、企業等と連携したデジタルデバインド(情報格差)対策の推進
- 「とちぎビジネスAIセンター」による県内企業のDX支援
- デジタル技術を活用した未来志向の県庁DXの推進

【持続可能な社会】(10項目)

- LRTの西側延伸への支援及び東武宇都宮線との連携による公共交通の広域ネットワーク化
- 公共交通自動運転移動サービス導入への支援の強化
- 市町の自主的・主体的な広域連携等の取組の支援
- 施策の推進に向けた県と市町の合意形成のルール化
- 次世代型太陽電池(ペロブスカイト)など新たな再生可能エネルギー技術の導入促進
- 県内でつくられた再生可能エネルギーを県内企業等へ供給する仕組みづくりの促進
- 下水汚泥資源の肥料利用などカーボンニュートラルの推進

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた各種施策の推進
- 電気の地産地消の推進
- 誰もが安全・安心・快適に移動できる公共交通ネットワークの充実

【文化・ブランド力】(5項目)

- 植樹400年となる日光杉並木街道保存・活用ビジョン(仮称)の策定
- 県民活力につながる大規模イベントの誘致・開催
- 本県の優れた技術や環境等を活かした商品力向上によるとちぎブランドの確立
- 2025年大阪・関西万博を契機とした本県の認知度向上と誘客の促進
- 「文化と知」の創造拠点(県立美術館・図書館・文書館)の着実な整備

【環境】(2項目)

- ネイチャーポジティブ実現に向けた外来種・獣害対策の推進
- 指定廃棄物の処理に関する県としての役割の実行

【行財政】(3項目)

- 地方創生の実現に向けた地方分権の更なる推進
- 地域活性化に資する権限移譲や規制緩和の推進
- 未来に向けた行財政基盤の確立のための財政健全化、有為な人材の確保・育成



Ⅳ 人口減少対策及び新たに取り組む項目

項目	内容
1 「人への投資」と少子化トレンドの反転	
【人口減少対策】	
①官民連携による「栃木県人口未来会議」(仮称)の設置	官民連携による「栃木県人口未来会議」(仮称)を設置し、オールとちぎで取組を推進します。
②女性や子育て世帯などターゲットニーズに応じた移住・定住施策の充実・強化	女性や子育て世帯などをターゲットとし、移住者ニーズを的確に捉えながら、移住・定住施策の充実・強化に取り組めます。
③地方創生に向けた中山間地域の地域づくり活動の支援	地域資源やAI、ICT等のデジタルを活用するほか、地域の特色を活かしながら新しい農産物ブランドの創出に取り組むなど、地方創生に向けて取り組む地域づくり活動を支援します。
【結婚・子育て】	
①市町と連携した給食費の無償化への取組など子育て世代の負担軽減の推進	国の動向を踏まえながら、市町と連携した小中学校の給食費の無償化への取組など、子育て世代の負担軽減を推進します。
②とちぎ結婚応援企業・団体の登録を促進し、組織内結婚サポーター1万人の登録推進	結婚を応援する機運の醸成を図るため、とちぎ結婚応援企業・団体の登録を促進するとともに、組織内結婚サポーターの登録数1万人を目指します。
③希望をかなえる妊娠・出産・産後ケア支援の充実	妊娠・出産・産後支援について、若い世代の希望がかなえられる環境をさらに充実させ、「子育てにやさしい栃木県」を目指します。
④市町と連携した児童虐待防止対策体制の強化	宇都宮市の児童相談所設置を支援するとともに、複雑化・深刻化する児童虐待相談に的確に対応できる専門機関である各児童相談所を通じて、市町への支援の強化に取り組めます。

項目	内容
【人材育成・活用】	
①大学、民間企業等と連携した「人づくり革命」の推進	企業と連携の下、就業体験活動や職業人を学校に招いた実践的指導等により、実社会から課題を発見し、解決する能力を学ぶとともに、大学等と連携し、生徒が自己の職業観や勤労観を養う教育を推進します。
②全世代を対象としたリスキリングなど職業訓練・就労支援の推進	産業技術専門校の機能強化を図り、DX等に対応できる人材を育成するとともに、多様な人材が県内企業に就職・定着して活躍することを目指します。
【外国人材】	
①育成就労制度の創設を契機とした外国人材の更なる活躍に向けた受入体制の強化	就労を希望する外国人から本県が選ばれるよう、県の支援メニューを充実させるほか、様々な相談に一元的に対応するなど、外国人材の活躍に向けたサポート体制を強化します。
②県立職業訓練施設等における外国人生徒に対する教育の充実	県内企業への就職を目指す外国人生徒に対する教育支援に取り組めます。
【教育】	
①グローバル時代に対応する英語力の強化など一貫した国際教育の推進	充実した英語教育や国際交流等により、確かな英語力を身につけ、グローバルに活躍できるとちぎの子どもを育成します。
②第三期県立高等学校再編計画の着実な実行による魅力と活力ある県立学校づくりの推進	多様なニーズに対応する県立学校の特色化、魅力化を推進するため、中等教育学校、フレックス・ハイスクールの設置等に取り組めます。
③県立学校で学ぶ生徒の教育環境の充実	県立学校の特別教室や体育館等へのエアコン設置など、教育環境の整備に取り組めます。

項目	内容
④産業構造の変化に対応した職業系高等学校の特色化	産業構造・仕事の内容の絶え間ない変化に対応できる人材を育成するため、学科横断的な学習を推進する未来共創型専門高校を設置します。
⑤建設産業の担い手を育成するインフラトレーニングセンターの整備	建設産業の担い手を育成するためインフラトレーニングセンターを整備します。
⑥児童・生徒に寄り添った相談体制の充実など不登校対策の強化	全ての児童生徒が安心して教育を受けることができるよう学校における相談体制を強化するとともに、居場所支援や学習支援など、関係機関との連携強化等による不登校児童生徒へのきめ細かな支援を充実します。
⑦公立夜間中学の設置など多様な学びの場の整備	様々な事情から学齢期に十分な教育を受けられなかった方や外国籍の方のため、公立夜間中学など多様な学びの場を整備します。
⑧共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実・強化	障害のある幼児児童生徒が主体的に学び、周囲の人々と相互に支え合う関係を築くことができるよう、きめ細かな指導・支援や家庭、教育及び福祉等の連携強化を図ります。
⑨教育現場の魅力度アップと教育力の向上	質の高い教員を確保するため、教員の魅力発信や働き方改革の推進により教員を目指す人の増加を図るとともに、教員研修等の充実により教育力の向上に取り組めます。

項目	内容
2 「女性・若者の活躍」を全力応援	
【女性活躍】	
①女性幹部職員の更なる登用及び女性活躍推進フェロー(仮称)の設置	女性幹部職員や審議会委員等における女性の割合を増やすとともに、女性活躍推進施策を統括するための女性活躍推進フェロー(仮称)を設置します。
②民間と連携した女性活躍応援基金の設置	民間と連携して女性活躍応援基金を設置し、女性活躍の推進やジェンダー平等に向けた活動に対して助成するなど、女性活躍の更なる促進を図ります。
③女性の職域拡大と賃金アップの取組促進	働く場における女性活躍の一層の推進に向けて、中小企業の職場環境整備や賃金アップの取組を促進します。
④輝く女性の活躍を応援する「男女生き生き企業」の倍増	働く女性の活躍を応援する「男女生き生き企業」の認定数を倍増し、女性の活躍を含めた働き方改革に取り組めます。
【若者の活躍】	
①若者の意見を反映した施策を推進する「とちぎ若者会議」(仮称)の設置	「とちぎ若者会議」(仮称)を設置し、政策形成過程への若者の意見反映に取り組めます。
②若者の地域貢献活動を支援する「とちぎ若者応援バンク」(仮称)の設置	若者による地域貢献活動を応援する企業・団体等で構成する「とちぎ若者応援バンク」(仮称)を設立し、若者を応援する環境整備に取り組めます。
③メディア芸術など新たな文化やコンテンツ産業の振興	映画・テレビ番組等のエンターテインメント、アニメ、漫画、ゲームなど新たな文化やコンテンツ産業の振興と人材育成、関連企業の誘致等に取り組めます。

項目	内容
3 「健康・安心なとちぎ」の実現	
【医療・福祉】	
①救急医療提供体制の充実強化	「栃木県救急医療提供体制のあり方に関する検討委員会」での検討等を踏まえ、本県の救急医療提供体制を充実強化します。
②地域医療構想を踏まえた県立病院施設の再整備	地域医療構想を踏まえ、老朽化した県立病院施設の再整備に取り組めます。
③高齢者のオーラルフレイル対策や各種健診受診率の向上など健康寿命延伸の取組推進	在宅療養者への訪問歯科健診などによりオーラルフレイルの予防等に取り組むほか、各種健診の受診率向上の取組を強化し、健康寿命の延伸を図ります。
【スポーツ】	
①地域クラブとの連携等による部活動改革の推進	児童生徒のニーズの多様化や教員の業務負担の軽減などに対応するため、部活動の地域移行を促進します。
②栃木県スポーツコミッション等を通じた国際的なイベントや国際会議の誘致	官民一体となって国際的なスポーツ大会や合宿などを誘致し、スポーツツーリズムを推進するほか、国際会議の誘致等に取り組めます。
③プロスポーツチームとの連携による地域活性化の推進	プロスポーツチームと企業等による地域づくりや地域課題の解決、商品開発等を推進します。
【くらし】	
①カスタマーハラスメント防止条例の制定	顧客等による著しい迷惑行為（いわゆるカスタマーハラスメント）の対策として、県、顧客、働く人及び事業者等の責務を明らかにして、県全体でカスタマーハラスメントの防止を図る条例を制定します。

項目	内容
【防災・減災、防犯】	
①新防災教育施設を中心とした防災人材の育成と地域防災活動の活性化の推進	新防災教育施設を中心として、災害を自分事として捉えて行動するための防災教育を実施するとともに、市町、消防団、防災士、大学などが連携して、次世代の防災人材の育成や地域の防災活動支援を強化します。
②逃げ遅れゼロを目指し、デジタル地図等による災害状況の見える化の推進	災害発生時に関係機関が情報を共有し、迅速・的確に災害対策を実施するとともに、避難に必要な情報を地図化して県民にタイムリーに提供できる防災情報システムの整備を推進します。
③空き家の発生抑制や活用の促進、危険な空き家の除却等の対策の推進	空き家の発生を抑制するとともに活用を促進するほか、倒壊により近隣に危険を及ぼすおそれのある空き家の除却等を推進します。
④大規模災害時の防災拠点となる都市公園等の機能強化の推進	自然災害への初動対応や救助・救援活動を迅速に実施できるよう、防災拠点となる都市公園や道の駅等の防災機能の強化を図ります。
⑤国と連携した災害時の首都機能のバックアップ機能の強化	国土形成計画に基づき検討が進む政府中枢管理機能のバックアップ体制や更なる地方移転について国に働きかけていくほか、必要な社会基盤の強化に取り組めます。

項目	内容
4 「稼ぐ力」を伸ばして更なる「豊かな県」へ	
【産業振興・企業誘致】	
①企業ニーズファーストの選ばれる産業団地の整備	立地に意欲のある企業のニーズを把握しながら、市町等と緊密に連携を図り、選ばれる産業団地の整備に取り組めます。
②情報産業など次世代産業の育成	AI、IoTを活用したサービスを行う情報産業など、今後の成長や企業の新規参入が見込まれる「次世代産業」の創出・育成を支援します。
③県内中小企業・小規模事業者の持続的な賃上げの促進	県内中小企業・小規模事業者における持続的な賃上げの実現に向け、適切な価格交渉・価格転嫁できる環境整備を促進します。
④地域経済を牽引する中堅企業の支援	賃金の引上げなど、地域経済や雇用の牽引役となる中堅企業に対して、国と連携しながら、新たな付加価値やイノベーションの創出等を支援します。
⑤官民連携による「とちぎ国際戦略協議会」(仮称)の設置	官民連携による「とちぎ国際戦略協議会」(仮称)を設置し、企業の海外展開支援やインバウンド誘客など世界から選ばれとちぎづくりを推進します。

項目	内容
【農林業の成長産業化】	
①最先端テクノロジーを活用した栃木型園芸団地の創出	園芸生産の収益性向上を目指し、最先端技術を取り入れた生産設備、集出荷施設や一次加工施設、ニーズに対応した販売体制などを備えた園芸団地の創出を支援します。
②スマート農業・スマート林業の加速化による更なる生産力や経営力の強化	スマート農業・スマート林業の実装を加速化させるなどDXの取組を推進し、更なる生産性の向上や経営力の強化に取り組めます。
③鮮度などの付加価値の向上による有利販売の推進	高品質な県産農産物の安定的な供給を推進するとともに、「鮮度」をアピールポイントとした付加価値の向上による有利販売を推進します。
④県オリジナル品種等の農産物知的財産の創出・保護・活用を促進	本県が開発したオリジナル品種や商標など、農産物知的財産の創出・保護・活用によるブランド力の強化と権利侵害の防止を促進します。
⑤農村地域でのグローバルビジネスの創出による稼ぐ力の強化	農村の地域資源の掘り起こしや磨き上げ、新たなビジネスの創出等により、インバウンド需要を農村地域に取り込み、農村地域の稼ぐ力の強化に取り組めます。
⑥花粉の少ない森林等への転換に向けた森林の若返りの推進	森林の公益的機能の高度発揮や花粉の少ない森林への転換に向け、とちぎの元気な森づくり県民税等を活用し、皆伐・再生林による森林の若返りを推進します。

項目	内容
【国際・観光】	
① 宿泊施設等におけるAI、IoTの導入促進など観光産業におけるデジタル化の支援	経営の合理化・効率化を図るため、宿泊施設等におけるAI、IoTの導入を支援し、観光産業におけるDXを促進します。
② 新モビリティによる奥日光地域へのアクセスの強化	自然豊かな奥日光地域へのアクセスを自動車に頼らず強化していくため、環境に配慮した新たな公共交通システムの導入などに取り組めます。
【地域交通】	
① 県土60分構想のリ・デザイン	カーボンニュートラルや2024年問題、自動運転等の新技術の活用など、新たな時代の潮流にあわせて県土60分構想を見直し、誰もが安全・安心・快適に移動できる交通ネットワークの充実を図ります。
【地域づくり】	
① 担い手不足などの地域課題の解決に向けた民間事業者との連携による仕組みづくりの推進	人口減少や高齢化等の進行による担い手不足などの地域課題の解決に向け、民間事業者の持つアイデアやノウハウ等を活用するなど、官民連携による仕組みづくりを推進します。

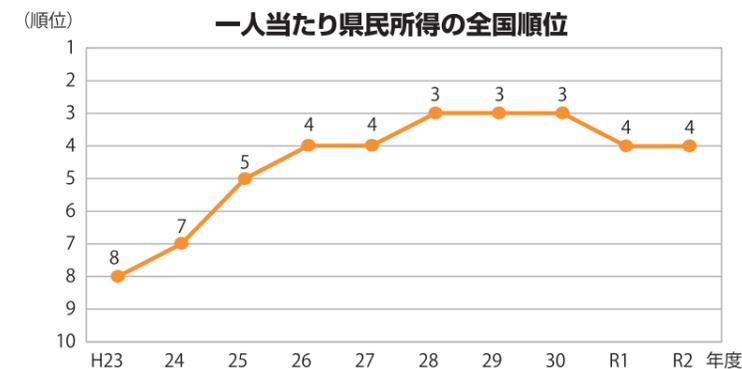
項目	内容
5 「X(トランスフォーメーション)」で「とちぎの未来創造」	
【デジタル】	
① つながる・ながれる・機能がひろがるスマートシティの推進	地域の多様な機関と連携し、つながる・ながれる・機能がひろがるスマートシティを推進するための体制を構築します。
② 市町窓口DX(書かない、待たない、回らない、行かない)の伴走支援の強化	手続きが1か所のできる、書かない、待たない、回らない窓口づくりや、窓口に行かずに手続きができる電子申請に取り組む市町に対する伴走支援を強化します。
③ GIS(地図情報システム)の高度化や3次元点群データの活用、ICT施工の推進などインフラDXの推進	GISの高度化や3次元点群データの活用、ICT施工の推進などインフラDXを推進するための基盤整備を実施し、建設業の生産性向上に取り組めます。
④ DXにおけるデータ利活用人材の育成	県・市町職員のほか民間企業等においてデータを活用してビジネス課題等を解決できる人材を育成します。
【持続可能な社会】	
① LRTの西側延伸への支援及び東武宇都宮線との連携による公共交通の広域ネットワーク化	LRTのJR宇都宮駅西側延伸にあわせ、交通結節点の機能強化や東武宇都宮線への乗り入れ等について関係機関と調整し、公共交通網の広域化を図ります。
② 公共交通自動運転移動サービス導入への支援の強化	持続可能で利便性の高い公共交通の確保充実を図るため、自動運転移動サービスの実装を支援します。
③ 市町の自主的・主体的な広域連携等の取組の支援	市町の自主的・主体的な連携を基本として、県内ブロックごとの課題解決に向けた広域的な取組を支援します。

項目	内容
④施策の推進に向けた県と市町の合意形成のルール化	県と市町の合意形成のルール化について検討を進めるなど、県民に身近な市町の意見を踏まえた施策を推進します。
⑤次世代型太陽電池(ペロブスカイト)など新たな再生可能エネルギー技術の導入促進	エネルギーの自立を図るため、軽量で弱い光でも発電できる次世代型太陽電池(ペロブスカイト)など新たな再生可能エネルギー技術の導入を促進します。
⑥県内でつくられた再生可能エネルギーを県内企業等へ供給する仕組みづくりの促進	再生可能エネルギーの地産地消の拡大に向けて、大規模太陽光発電施設等の売電終了後の卒FIT電力を県内企業等へ供給するなど、県内で活用する仕組みの構築を図ります。
⑦下水汚泥資源の肥料利用などカーボンニュートラルの推進	2050年カーボンニュートラルの実現等に向け、下水処理場から発生する下水汚泥資源の肥料利用(堆肥化、りん酸回収など)を推進します。
【文化・ブランド力】	
①植樹400年となる日光杉並木街道保存・活用ビジョン(仮称)の策定	日光杉並木街道の保存・活用に向けたロードマップを策定することにより、観光資源としての整備や愛護意識の醸成等を促進します。
②県民活力につながる大規模イベントの誘致・開催	まちづくりや地域活性化、郷土愛の醸成など県民活力の向上につながる大規模イベントを誘致します。また、G7 大臣会合を記念した「雲の上のサステナブルサミット」(仮称)を日光で開催します。
③本県の優れた技術や環境等を活かした商品力向上によるとちぎブランドの確立	本県の優れた農産物の育成技術や自然環境を生かし、特産品や旅行商品等の開発をマーケティング手法を用いて支援し、とちぎブランドの確立を図ります。
④2025年大阪・関西万博を契機とした本県の認知度向上と誘客の促進	本県の認知度向上や誘客促進、インバウンドの拡大等を図るため、2025年大阪・関西万博に出展し、とちぎの豊かな自然や優れた歴史、文化等の魅力を発信します。

V 福田とみかず県政20年の実績

とちぎの産業力

◆県民所得 全国上位の常連



全国順位(R2)

- 1位 東京都(5,214千円)
- 2位 愛知県(3,428千円)
- 3位 福井県(3,182千円)
- 4位 栃木県(3,132千円)**

- ◆新たな雇用を生み出す企業を積極的に誘致
工場立地件数
(H16～R5累計) **768件**〔全国**8位**〕
(R5) **34件**〔全国**5位**〕

- ◆栃木県農業大学校に日本初の「いちご学科」を設置(R3)

- ◆栃木県林業大学校を開校(R6)



栃木県林業大学校

◆工農林すべてがトップクラス

製造品出荷額等	(R4) 94,783億円 〔 14位 〕
農業産出額	(R4) 2,718億円 〔 9位 〕
園芸産出額	(R4) 908億円 〔 15位 〕
人工乾燥材(国産材)出荷量	(R5) 232千㎡ 〔 3位 〕

とちぎの健康・安心

◆健康長寿とちぎの推進

健康寿命の着実な延伸

男性 H16:70.20 → **R1:72.62** (+2.42歳)
女性 H16:74.30 → **R1:76.36** (+2.06歳)



◆新生児先天性代謝異常等検査の公費負担対象を拡大

従来の20疾患に、脊髄性筋萎縮症検査・重症複合免疫不全症検査を追加(R5)

◆地域医療を担う中核病院の移転新築等の支援

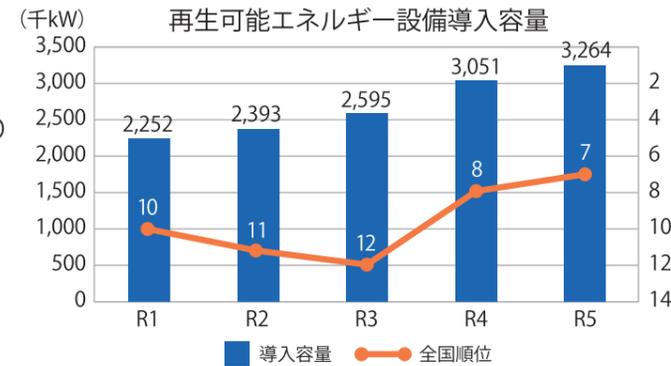
足利赤十字病院、那須赤十字病院、上都賀総合病院、新小山市市民病院、とちぎメディカルセンター、石橋総合病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学日光医療センター

とちぎの環境

◆再生可能エネルギー導入の推進

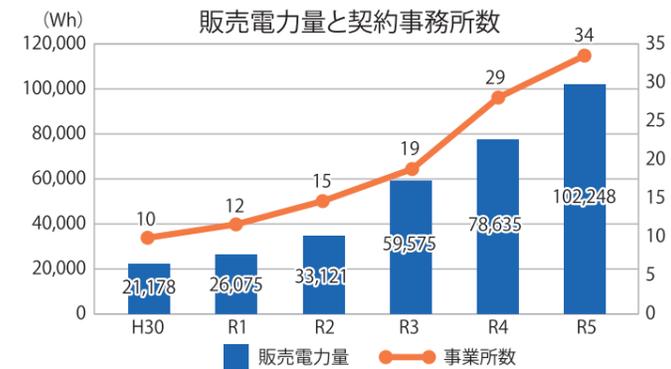
再エネ固定価格買取制度(FIT)認定の再生可能エネルギー(太陽光、水力、バイオマスなど)の導入容量

3,263,989kW (R5)
(全国7位)



◆地産地消の電力メニューを全国に先駆けて創設

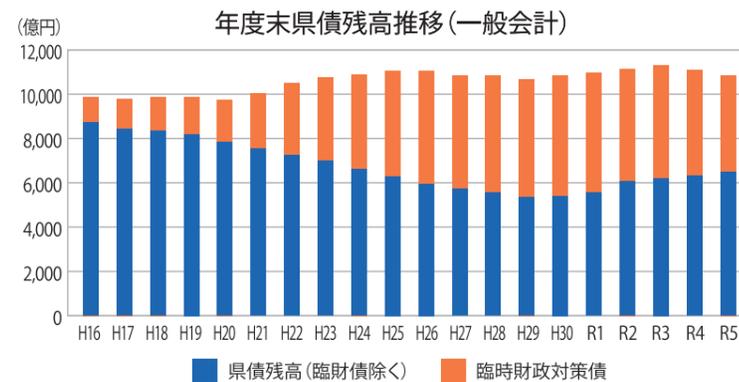
県営水力発電所のCO₂フリー電気を県内事業所で活用する
「とちぎふるさと電気」を創設(H29)
〔全国初〕



とちぎの基盤

◆県の基盤となる財政力の強化

財政力指数	(R4) 0.61〔全国11位〕
県民一人当たり地方債残高	(R4) 59.8万円〔全国 7位〕 *少ない順
財政調整的基金残高	(R5年度末) 821億円



出前の政治で41年 福田とみかずプロフィール

昭和28年5月21日、日光市(旧今市市)木和田島生まれ
生家は、いたって普通の農家

日光市(旧今市市)立大沢中学校時代は、生徒会長として活躍
その一方、バスケットボール部の主将も務め県大会では準優勝

栃木県庁職員時代(昭和47年～)は、勤務が終わると東京神田の日本大学
理工学部(夜間部)に駆けつけるという慌ただしい毎日
厳しいながらも4年間で無事卒業

昭和56年、栃木県庁を退職し福田富一設計・行政書士事務所を開設
政治家の秘書にという話もあったが、地道に自分の力で政治家を目指そうと
独力で後援会活動を開始

昭和58年から宇都宮市議会議員を2期務め、平成2年に栃木県議会議員補欠選挙に
立候補するが、惜しくも次点。必ずの再起を胸に誓う

平成3年、雪辱を果たすべく栃木県議会議員選挙に立候補
見事トップの得票で初当選。2期目の選挙でも連続県内最多得票

県議時代は、県議会野球チームでセンターを守り1番打者として活躍
全国大会優勝の原動力となる

県都宇都宮市の発展なくして栃木の未来はないとの思いから
平成11年、45歳にして宇都宮市長選挙に立候補(2期)
当選後は、次々に市政改革を実行するなどその行政手腕を発揮

平成16年、市政から県政へと活躍の場を移し、令和6年栃木県知事として5期目が満了
出前の政治でとちぎの輝く未来を創生するため6期目への出馬を決意